

TMPU Family

東北医科薬科大学報

2021.12

vol. 38



大学より
**新型コロナウイルス感染症に
対する本学の対応**

薬学部より
薬剤師国家試験対策

医学部より
白衣授与式

附属病院より
病院機能評価の認定を受けました

CONTENTS

大学より

新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症に対する本学の対応 (ワクチン接種実施状況など)	1
遠隔授業、対面授業の実施状況(薬学部)	1
遠隔授業、対面授業の実施状況(医学部)	1
令和3年度新型コロナウイルス感染症に係る 学生支援事業について	1
各種行事の中止(大学祭・球技大会)	1

大学関係

在学生保護者教育懇談会開催(Web開催)	1
令和3年度卒業式のお知らせ	1

社会貢献

学都仙台コンソーシアムサテライトキャンパスで 公開講座開催	2
令和3年度高大連携事業に係る公開講座開講	2

医薬連携

医薬研究交流会について	3
医療薬学概論	3
課題研究	3

仙台文学館にて企画展

「高山樗牛と土井晩翠「瞑想の松」物語」を開催	3
------------------------------	---

薬学部より

薬学部後期オリエンテーションの開催	4
遠隔授業、対面授業、実習の実施状況	4
第53回東北薬祖神祭に出席	5
薬剤師国家試験対策	5
小松島キャンパス自習室の開放	6
薬学部 後期行事予定	6

医学部より

遠隔授業、対面授業、実習の実施状況	7
白衣授与式	7
令和3年度東北大学・東北医科薬科大学合同慰霊祭 ..	8
地域臨床実習を終えて	8
臨床実習後OSCE実施	9
医師国家試験対策	9
医学部 後期行事予定	9

入試センターより

薬学部学校推薦型選抜(指定校制・公募制)実施結果 ..	10
令和4年度入学選抜日程	10

キャリア支援センターより

令和3年度就職(進学)状況について	10
令和3年度薬学部キャリア・就職支援行事予定	10
令和5年3月卒業予定者の就職活動時期について ..	11
就職活動体験記	11
インターンシップ体験記	11

図書館より

二松会からの図書寄贈について(御礼)	12
電子資料の導入について	12

大学院より

令和4年度大学院薬学研究科入学選抜結果	12
令和4年度大学院薬学研究科入学選抜日程	12
大学院の授業料について	12

法人より

学内人事	13
令和3年度外部資金獲得状況	13

附属病院より

本院より

「遺伝外来」を開設	14
病院機能評価の認定を受けました	14
タグラインを制作しました	14

若林病院より

新型コロナウイルスワクチン接種への取り組み	14
プチ健診の取り組み～健診センターより～	14

トピックス

小松島キャンパス学生食堂リニューアル	15
吉村祐一教授の研究内容が「みらいぶっく」に掲載 ..	15
住友和弘准教授がKHB東日本放送の番組に出演 ..	15
賀来満夫特任教授 各種テレビ番組に出演	15
久下周佐教授 河北新報に取材記事掲載	15
本学名誉教授只野武先生が革新的なビジネスプランを 競うコンテストの最優秀起業家賞を受賞	16
渡部俊彦准教授「しくじりオブザイヤー2021」大賞受賞 ..	16
福地成講師「日本トラウマティック・ストレス学会」奨励賞受賞 ..	16
善積 克 講師が日本性機能学会白井賞を受賞	16
医学部4年の武居 翔也 君が、日本超音波医学会 第62回東北地方会学術集会にて奨励賞を受賞	16
卒業生 三浦えりかさん「処方箋上のアリア」刊行 ..	17
卒業生 柏葉幸子さん「岬のマヨイガ」映画公開	17

教室紹介

医学部 内科学第一(循環器内科)教室	17
薬学部 天然物化学教室	17

同窓会より

叙勲・表彰	巻末
同窓会からの生活に困窮する学生に対する支援について ..	巻末

二松会より

二松会より	巻末
-------------	----

ご寄付のお願い(教育研究協力資金)

ご寄付のお願い(教育研究協力資金)	巻末
教育研究協力資金の受入状況および使途報告	巻末

新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症に対する本学の対応(ワクチン接種実施状況など)

長期化したコロナ禍がようやく沈静化してきたなかで本学は、引きつづき感染予防対策を徹底しながら、教育研究活動の正常化を進めています。

本学では、学生と教職員が授業や研究等の活動をする際の指針を策定し、「新型コロナウイルス感染症に対応する東北医科薬科大学の活動指針」としてウェブサイトで公表しています。宮城県では令和3年9月30日をもって「まん延防止等重点措置」が終了となり、10月には県内の感染状況も落ち着いてきたことから、10月27日をもって指針をレベル2(要警戒・中程度の活動制限)からレベル1(要注意・一部の活動制限)に引き下げました。それにより、

教育研究活動や学生生活上の制限を段階的に緩和していきます。

学生と教職員を対象とする新型コロナウイルスワクチン接種については、接種を希望する方が確実に接種を受けられるように接種機会の確保と提供に努めました。令和3年7月から10月まで、仙台学長会議の加盟大学として東北大学の大学拠点接種を利用したワクチン接種の機会を学生と教職員に提供し、10月末までに接種を希望する方のほぼ全員が接種を終えています。

本学は国内および宮城県内の感染状況を注視しつつ、医療系人材を輩出する高等教育機関としての役割を果たします。

遠隔授業、対面授業の実施状況

薬学部

薬学部では、受講人数を講義室定員の半数程度に抑えた対面授業と、遠隔授業(オンデマンド配信)併用のハイブリッド形式にて実施しております。また、実習(卒業研究を含む)については、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、対面にて実施しております。詳細はP4をご覧ください。

医学部

コロナ禍において、医学部では学生の安全と心身の健康を第一に考えつつ、教育の質を落とさずに学習機会を確保することを目標に掲げています。後期の授業では、状況が許す限り対面授業の実施に努めており、一部遠隔授業も併用しながら教育を行っております。学年によっては、ほぼ対面で教育を実施できている学年もあります。詳細はP7をご覧ください。

令和3年度新型コロナウイルス感染症に係る学生支援事業について

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経済的に困窮し学生生活が困難となっている学生へ、本学同窓会からの支援を受け支援事業を11月に実施しました。家庭等からの援助金の減少やアルバイト収入の減少などで学生生活が困難となっている学生に対して5万円を給付します。

各種行事の中止 (大学祭・球技大会)

大学祭および球技大会につきましては、例年、学生が中心となり開催しておりましたが、令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。

大学関係

在学生保護者教育懇談会開催(Web開催)

本学における教務関連、学生生活、就職状況等の現況報告の場としておりました。在学生保護者教育懇談会の開催を、今年度は10月2日(土)に本学の小松島キャンパス(薬学部)および福室キャンパス(医学部)において、また地方会場として10月16日(土)に青森会場(薬学部)および東京会場(医学部)、10月17日(日)に秋田会場(薬学部)にてそれぞれ予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮し、皆様にご参集いただいたの開催は中止とし、10月5日(火)から10月31日(日)の期間での動画配信によるWeb開催とさせていただきます。

たくさんのご視聴、誠にありがとうございました。

令和3年度卒業式のお知らせ

令和3年度学部卒業証書・学位記授与式並びに大学院学位記授与式を令和4年3月8日(火)午前10時より仙台銀行ホール イズミティ21において挙行いたします。当日は、平成28年度に開設した医学部の1期生が、薬学生と共に卒業を迎えます。

なお、新型コロナウイルス感染症による感染拡大防止の観点から内容等変更する場合があります。変更となる場合は、随時大学ホームページにてお知らせいたします。

※仙台銀行ホール イズミティ21(住所:仙台市泉区泉中央2-18-1)

社会貢献

学都仙台コンソーシアムサテライトキャンパスで公開講座開催

7月3日(土) 仙台市市民活動サポートセンターにおいて、薬学部臨床感染症学教室・藤村茂教授による「市民レベルで知っておきたい各種感染症対策」と題した公開講座を実施いたしました(新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じた上で実施)。学都仙台コンソーシアムは大学等の高等教育機関と市民・企業・行政が互恵的な関係を結び、ともに高め合い、相互に発展の機会を創造していく「知が連携する学都仙台」をめざし、本学も加盟し

ています。

公開講座では、感染症の専門家として活躍している藤村教授より新型コロナウイルスをはじめとする様々な病原体、感染経路、生活場面における感染防止策などについて、専門家としての視点からわかりやすく解説され、28名の参加者は大変熱心に聴講されていました。



令和3年度高大連携事業に係る公開講座開講

高大連携事業に係る公開講座は、高校生が大学における高度な教育・研究に触れることにより、学問に対する興味・関心を持ち自ら学ぶ意欲を高めその能力の伸長を図るとともに、主体的な進路選択を行うことができるよう、宮城県教育委員会と在仙大学との協定により平成16年度から実施しています。

今年度、薬学部・医学部の教員4名による公開講座を8月21日(土)に開催しました。当日は高校1年次から3年次までの82名の皆さんが熱心に受講していました。

今年度開講した講義は次の通りです。

「有機金属化学と医薬品合成」

薬学部・分子薬化学教室 准教授 若松 秀章

「大切な栄養素『ブドウ糖』の体内調節の仕組みと『糖尿病』」

医学部・内科学第二(糖尿病代謝内科)教室 教授 赤井 裕輝

「上手に使おう、薬とサプリメント 一葉酸を例に一」

薬学部・臨床薬剤学教室 教授 村井 ユリ子

「本当に怖い？ 乳がんの話」

医学部・外科学第三(乳腺内分泌外科)教室 教授 鈴木 昭彦



医薬連携

医薬研究交流会について

「医薬研究交流会」は、平成28年に本学に医学部が開設されたことを契機に、本学の医薬融合と共同研究推進を目的として平成29年の10月に発足し、以下のように現在までの5年間に12回の医薬研究交流会が開催されました。

この歳月の中で本学は、教職員数170名から、病院職員を含む東北医科薬科大学の職員総合計は現在1,500名余となっております。

ます。このように、飛躍的な成長を遂げつつある本学において私たち教職員に課せられた使命は、医学部開設時の理念である医薬融合を具現化するため、さらなる教育・研究活動の充実を推進し、医療系総合大学としての基盤を磐石なものにすることにあります。

今年度は医薬研究交流会が発足して5年の節目として、医薬連携による共同研究の成果発表会の開催を予定しています。

医薬研究交流会開催実績

第1回	平成29年10月11日	がん関連医薬共同研究
第2回	平成29年11月 8日	循環器／アレルギー・自己免疫疾患関連医薬共同研究
第3回	平成30年 1月25日	神経関連医薬共同研究
第4回	平成30年 3月 5日	感染症関連／その他医薬共同研究
第5回	平成30年 5月24日	画像診断・分子イメージング
第6回	平成30年 7月24日	がんと糖鎖
第7回	平成30年 9月18日	AI
第8回	平成30年12月 5日	感染症Ⅱ
第9回	平成31年 3月 6日	腎症
第10回	令和元年 7月29日	研究推進委員会新体制の紹介
第11回	令和元年12月10日	医薬シーズ・治療戦略の開発
第12回	令和2年 7月30日	臨床研究とその評価

医療薬学概論

本学医学部では薬物療法への理解の深い医師を養成する目的で、医学部3年次生を対象に「医療薬学概論」を開講しています。計15回の講義は全て薬学部教員が担当し、薬物相互作用、薬害、生薬学、天然物化学、薬物送達法、薬物動態学などの薬学の専門知識を習得します。各臨床科の講義では疾患の病態や治療については

学びますが、治療薬の誕生した経緯について話を聞くことはできません。「医療薬学概論」では薬の開発過程について学ぶほか、処方箋の作成といった実践的内容についても学ぶことのできる貴重な機会となっています。本講義を通じて、医学と薬学、医師と薬剤師の連携が深まり、地域医療の充実につながることを期待しています。

課題研究

医学部3年次で実施する「課題研究」では、3年次の1年間にわたり、医学部または薬学部の教室のいずれかに配属されて研究活動を行います。他の科目同様、いわゆる「3密」を避ける必要はありましたが、少人数ごとの配属であることを活かして可能な限り、対面で実施できました。3年次は、最も座学が多い学年であることから貴重な時間であったと思われます。

一方、急速に進化したIT環境により、課題研究遂行上の思わぬ利点も出てきており、小松島や福室キャンパスの距離や学年の違いを超えてディスカッションを行うことができるようになり、また、他大学の共同研究先の先生から指導を受けることが可能になるなど、濃密な研究が実施できるようになってきています。

仙台文学館にて企画展「高山樗牛と土井晩翠「瞑想の松」物語」を開催

2022年1月15日(土)～3月21日(月・祝)に、仙台文学館にて企画展『高山樗牛と土井晩翠「瞑想の松」物語』が開催されます。本学構内にある樹齢620年以上のクロマツの古木「瞑想の松」が、なぜ「瞑想の松」と呼ばれるようになったのか、その不思議をひも解きます。小松島キャンパスの大学創設者高柳義一記念室に設置されている土井晩翠先生作詞の本学校歌(レプリカ)も展示されます。興味のある方はぜひ足をお運びください。



仙台文学館HP



薬学部より

薬学部後期オリエンテーションの開催

薬学部後期オリエンテーションは、新型コロナウイルス感染対策を徹底したうえで、薬学科1～4年次および生命薬科学科1～3年次を対象に9月27日(月)に実施しました。オリエンテーションでは、組担任から前期の学業成績表が配付され、前期を振り返るとともに、後期の目標を設定し、自身の学修や行動を見直す機会となりました。また、新型コロナウイルス感染症の感染対策をはじめとし、学生生活における注意喚起として、薬物乱用防止、SNSトラブルの防止等についても説明を行いました。

長期化するコロナ禍により、不安や悩みを抱えることもあるかもしれませんが、学生の皆さんが安心して学生生活を送れるよう教職員一同フォローしてまいります。



遠隔授業、対面授業、実習の実施状況

薬学部では、コロナ禍における授業・実習の実施方針について議論を重ね、今年度の授業・実習について以下のとおり実施しています。

授業

4月12日(月)より前期授業、9月10日(金)より後期授業を開始しました。今年度も昨年度同様に、新型コロナウイルス感染防止の観点(飛沫・接触感染防止、3密の回避等)から、受講人数を講義室収容定員の半分程度に抑え、室内換気の徹底・座席の指定・入退室時の手指消毒を講じた対面授業と、オンデマンド配信(対面授業の録画配信)を併用した遠隔授業を実施しました。なお、薬剤師国家試験の受験を控える薬学科6年次、および生命薬科学科については、上記感染症対策を徹底した上で、対面授業形式にて実施しております。



薬学部対面授業

対面実習

4月13日(火)より実習(卒業研究を含む)については、対面形式にて実施しました。実習開始にあたり、学生は個人防護具(PPE:マスク、ゴーグル、手袋、白衣の着用等)を着用し、そのうえで日々の体調管理、検温報告等、感染防止対策を講じて

臨みました。遠隔授業とは異なり、実際に実験器具等を使用し、教員から直接指導がある中で真剣に取り組んでいる様子うかがえました。



第53回東北薬祖神祭に出席

令和3年10月18日(月)に、医薬の祖神と言われている大己貴命、少彦名命の二神を祀る松尾神社にて行われた第53回東北薬祖神祭に出席し、業界のなお一層の繁栄と、令和4年2月に行われ

る薬剤師並びに医師国家試験にて、本学受験生全員が合格するよう祈願してまいりました。

(松尾神社の住所:仙台市青葉区宮町4丁目)



松尾神社由緒

松尾神社は四八号線、北四番丁大通り宮町四丁目に鎮座する。社伝によれば延享二年(一七四五)乙丑三月十九日藩主伊達宗村公の命により藩臣庄司伝七郎が大己貴命少彦名命の二柱を祀り稲荷神社と稱した。

安永年間(一七七〇)頃から一時廢れていたが、天保十二年(一八四一)辛丑三月十九日に、伊達家が京都松尾大社の大山咋命、中津島姫命を勧請して松尾神社改稱した。

戦前は旧青葉城より修遷した奥宮を首尾社殿、拝殿、長床、神楽堂、神饌所、求社、琴平社等結構莊麗を極め、祭事は五月十八日に神社から河原町まで神輿渡御を行い、十九日に祭典を行って居たが昭和二十年の震災で全焼した。

昭和三十一年に県内外の酒造家、杜氏、地方の氏子宗教者の寄進により完全防火の莊麗な社殿を復興し、酒造神薬祖神として県内外に知られる由緒ある神社である。

平成七年社殿を修復し庄司家が歴代宮司奉仕して現代に至る。

御祭神は、大己貴命、少彦名命、大山咋命、中津島姫命

大己貴命(商売繁昌)
大山咋命(酒・水商売)
少彦名命(薬業健康)
中津島姫命(家内安全)

松尾会館をご利用の方は、社務所までご連絡下さい。
〒960-0004 仙台市青葉区宮町四丁目二番四十三号

薬剤師国家試験対策

令和4年2月19日(土)、20日(日)の両日第107回薬剤師国家試験が実施されます。問題数は「必須問題」が90問、「一般問題(薬学理論問題)」が105問、「一般問題(薬学実践問題)」が150問、計345問です。

【合格基準】以下のすべてを満たすことを合格基準とすること。なお、禁忌肢の選択状況を加味する。

- ①問題の難易を補正して得た総得点について、平均点と標準偏差を用いた相対基準により設定した得点以上であること。
- ②必須問題について、全問題への配点の70%以上で、かつ、構成する各科目の得点がそれぞれ配点の30%以上であること。

第107回薬剤師国家試験の合格発表は令和4年3月24日(木)です。厚生労働省ホームページの資格・試験情報のページに受験地及び受験番号が掲載されます。

今年度の薬剤師国家試験対策として、薬学科6年次を対象に令和3年10月18日(月)から11月19日(金)まで外部講師による特別補講Iを実施し、令和4年2月中旬には卒業予定者を対象に特別補講II(任意・講習料は有料)を実施する予定です。



小松島キャンパス自習室の開放

新型コロナウイルス感染状況を考慮しながら、薬剤師国家試験を控える薬学科6年次から優先的に自習室を開放し、その他の学年には11月1日(月)より自習室開放日(平日)に講義室を自習室として開放しています。自習室は利用者の感染拡大を防ぐため、座席の間隔を空けて配置し、ドアや窓を開けて換気するなどの対



策をしています。また、利用時には入口の「自習室利用表」に氏名や利用時間を記入することとし、陽性者が出た場合に備え利用者を把握しています。自習室を利用する際は、マスク着用や手指消毒など利用上の注意を守り、有効に活用していただきたいと思います。



薬学部 後期行事予定

8月

8月23日(月)～11月7日(日) 薬学科5年次実務実習(第Ⅲ期)

9月

9月7日(火)～9日(木) 薬学科4年次CBT体験受験
9月10日(金) 後期授業開始

10月

10月4日(月)・5日(火) 薬学科6年次薬剤師国家試験対策第3回模擬試験
10月6日(水)～ 薬学科6年次薬剤師国家試験対策模擬試験
弱点補講(オンデマンド配信)
10月18日(月)～11月19日(金) 薬学科6年次国試対策特別補講I

11月

11月2日(火) 薬学科4年次薬学実力試験(CBT対策)
11月6日(土)、13日(土) 薬学科1・2年次、生命薬科学科1・2年次
中間試験
11月22日(月)～2月13日(日) 薬学科5年次実務実習(第Ⅳ期)
11月22日(月)、24日(水) 薬学科6年次薬剤師国家試験対策第4回模擬試験
11月25日(木)～ 薬学科6年次薬剤師国家試験対策模擬試験
弱点補講(オンデマンド配信)
11月30日(火) 第二期授業料等納付金納入期限

12月

12月11日(土)・12日(日) 薬学科4年次薬学共用試験(OSCE)
12月23日(木) 後期授業終了
12月24日(金) 冬季休業(1月5日まで)

1月

1月6日(木)・7日(金) 薬学科4年次薬学共用試験(CBT)
1月7日(金)～20日(木) 後期定期試験
[薬学科4年次1月12日(水)～19日(水)]
後期成績Web公開後期フォローアップ
オリエンテーション(薬学科4年次のみ)

2月

2月3日(木) 後期成績Web公開(薬学科4年次以外)
2月10日(木)～18日(金) 後期追・再試験
[薬学科4年次2月4日(金)～14日(月)]
2月15日(火)、17日(木) 実務実習事前講習会(薬学科4年次)
2月16日(水) 薬学科4年次薬学共用試験(OSCE追・再試験)
2月17日(木) 白衣授与式(薬学科4年次)
2月19日(土)・20日(日) 第107回薬剤師国家試験
2月25日(金) 薬学科4年次薬学共用試験(CBT追・再試験)

3月

3月8日(火) 令和3年度学部卒業証書・学位記授与式
並びに大学院学位記授与式
3月15日(火) 進級判定

※新型コロナウイルス感染症の影響により変更となる場合があります



遠隔授業、対面授業、実習の実施状況

コロナ禍において、医学部では学生の安全と心身の健康を第一に考えつつ、教育の質を落とさずに学習機会を確保することを目標に掲げています。後期の授業では、状況が許す限り対面授業の実施に努めており、一部遠隔授業も併用しながら教育を行っています。

1～2年次生は、小松島キャンパスにおいて、教室内の密な環境を避けるため、一部の講義科目で遠隔授業を併用して実施しているものの、実習科目を含め、多くの科目で対面授業を実施しています。

3年次生は、福室キャンパスにおいて、ほとんどの科目で対面授業を実現できています。また、4年次生は、後期から「診療科臨床

実習」が開始され、福室・附属病院での実践的な臨床実習に励んでいます。5年次生も、臨床実習の全科ローテーションを終えたところで、10月中旬から選択科における臨床実習を開始しています。

6年次生は、「統括講義」において、これまでに修得した知識・技能等を総括し、いよいよ来年2月に実施される医師国家試験に向けた準備を着実に進めています。

まだまだ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大について、予断を許さない状況ですが、今後も安全を最優先に、学生の学びの歩みを止めることがないように、教職員一丸となって日々学生の支援を行ってまいります。



白衣授与式

医学部医学科では4年次後期から始まる臨床実習を前に、10月1日(金)福室キャンパスプラタナスホールで、3期生98名の白衣授与式を挙行了しました。本年は参列者を最小人数とし、感染対策を徹底した上での式となりました。

高柳理事長・学長、福田医学部長、近藤統括病院長からの激励

の挨拶に続き、代表学生に白衣が手渡され、全員が本学のロゴ・大学名が入った白衣に袖を通しました。その後、代表学生の吉田智哉さんが自らの言葉で宣誓し、「患者様を取り巻く環境に注目し、最適な医療とは何かを常に考え、地域医療で必要とされる医師を目指します」と力強く決意表明し、式典を締めくくりました。



令和3年度東北大学・東北医科薬科大学合同慰霊祭

合同慰霊祭が10月20日(水)に仙台国際センターで開催されました。今年度は新型コロナウイルス感染対策のため、少数のご遺族、白菊会役員、教職員並びに学生のみでの小規模な形式とし、会場も大ホールと桜ホールに分かれて実施いたしました。

本学から福田寛医学部長、医学部教員代表として上条桂樹教授、学生代表として崎本有梨亜さんが、それぞれ献花を行い御霊

の安らかならんことをお祈りいたしました。

参列いただけなかったご遺族・白菊会会員の皆様向けに白菊会HPに動画が掲載される予定です。

また、昨年と同様に合同遺骨返還式は中止となり、ご遺骨と文部科学大臣からの感謝状は、個別にご遺族のもとへお届けいたします。



地域臨床実習を終えて

私は石巻赤十字病院に4週間、在宅診療に2週間、保健所に1日実習させていただきました。何度も実習で訪れている石巻市には親近感があり、長期間の泊まり込み実習に不安はありませんでした。

私が一番印象に残っているのは在宅診療です。実習の初日、看護師さんが「あら、大きくなったわね。」と声をかけて下さいました。私が2、3年時に実習に来たことを覚えていて下さったことに驚き、嬉しく感じたのと同時に、当時の記憶が思い出されました。数年前は医師の後ろから見学することしかできない私でしたが、

今回は基本的な問診やバイタルチェック、ルート確保、摘便、創部処置などの手技を自力で行うことができました。

また訪問先ではなすやきゅうりの漬物を頂くなど多くの方の温かさに触れることができました。地域の方々に支えられながら、自分自身の成長を感じることで有意義な実習を送ることができたと思います。数年後に医師として石巻に戻ってきて、恩返しのできたらいいなと思います。

医学部6年 黒柳 浩志



臨床実習後OSCE実施

卒業要件の一つである臨床実習後OSCEを11月7日(日)に本学で初めて医学部6年次生に対し実施いたしました。

臨床実習後OSCEは医学生が診療参加型臨床実習により、医学部の卒業を許容できるレベルの臨床能力を修得していることを確認するための客観的臨床能力試験です。

試験は主訴から病態を推測し、そのための医療面接を行い、医療面接で得た情報を鑑別診断につなげるために身体診察を行い、その思考過程を過不足なく指導医に報告できるかどうかを評価します。限られた時間で医療面接及び身体診察の優先順位をつけて効率よく行うことが求められます。

今年度の試験実施にあたっては新型コロナウイルスの感染対策に十分配慮したうえで行われ、滞りなく終了しました。



※写真は試験開始直前の注意事項説明の様子

医師国家試験対策

令和4年2月5日(土)・6日(日)の2日間、第116回医師国家試験が実施されます。

合格発表は令和4年3月16日(水)午後2時です。厚生労働省ホームページの資格・試験情報のページにその受験地及び受験番号が掲載され発表となります。

2日間の問題数は400問(内訳:必修問題100問(一般問題50問、臨床実地問題50問)、各論および総論問題300問(一般問題100問、臨床実地問題200問))の予定です。

なお、前回第115回医師国家試験の合格基準は、

(1)必修問題の一般問題を1問1点、臨床実地問題を1問3点とし、総得点が、160点以上/200点

(2)必修問題を除いた一般問題及び臨床実地問題については各々1問1点とし、総得点が、209点以上/300点

(3)禁忌肢問題選択数は、3問以下

以上3つの基準を満たすこととされ、合格率は全体の91.4%(うち新卒者94.4%)となりました。

6年次後期科目「統括講義」全540コマでは、6年間の総括として、各専門領域の先生が医師国家試験でよく出題される領域や学生の弱点領域を中心に講義を行っています。

医学部 後期行事予定

8月

8月30日(月) 1年次・2年次後期授業開始
8月30日(月)～9月3日(金) 1年次後期選択必修科目履修登録期間

9月

9月27日(月) 3年次・4年次・5年次・6年次後期授業開始

10月

10月1日(金) 白衣授与式
10月20日(水) 東北大学・東北医科薬科大学合同慰霊祭
10月22日(金) 卒業試験(1回目)

11月

11月7日(日) 6年次共用試験Post-CC OSCE本試験
11月30日(火) 第二期授業料等納付金納入期限

12月

12月17日(金) 卒業試験(2回目)
12月25日(土)～1月4日(火) 1年次・2年次冬季休業
12月25日(土)～1月3日(月) 3年次・4年次・5年次・6年次冬季休業

1月

1月5日(水)～12日(水) 1年次後期定期試験期間
1月14日(金)～21日(金) 3年次後期追再試験期間
1月17日(月)～2月17日(木) 2年次後期追再試験期間
1月27日(木) 卒業判定

2月

2月5日(土)・6日(日)(予定) 第116回医師国家試験
2月7日(月)～15日(火) 1年次後期追再試験期間
2月28日(月)～3月9日(水) 1年次・2年次・3年次進級判定試験実施期間

3月

3月8日(火) 令和3年度卒業証書・学位記授与式
3月17日(木) 進級判定

※定期試験・追再試験は、設定された試験期間または適宜実施されます。

入試センターより

薬学部学校推薦型選抜 (指定校制・公募制) 実施結果

11月20日(土)、本学小松島キャンパスにおいて、薬学部学校推薦型選抜(指定校制・公募制)を実施いたしました。指定校制の受験者は薬学科43名、生命薬科学科8名、公募制の受験者は薬学科139名、生命薬科学科6名でした。12月1日(水)に合格発表を行い、指定校制は薬学科43名、生命薬科学科8名、公募制は薬学科94名、生命薬科学科3名が合格となりました。

令和4年度入学者選抜日程

令和4年度の入学者選抜日程(薬学部学校推薦型選抜除く)は、下記のとおりです。また、下記日程の他、新型コロナウイルス感染症等への対応として、追試験を設けます。

■ 薬学部/薬学科(6年制) 生命薬科学科(4年制) ■ 医学部/医学科(6年制)

試験区分	試験日
一般選抜	(前期) 令和4年1月22日(土)
	(後期) 令和4年2月19日(土)
大学入学 共通テスト 利用選抜	(前期)
	(中期)
	(後期)

本学での個別試験は課さない

試験区分	試験日
一般選抜	一次試験 令和4年1月22日(土)
	二次試験 (一次試験合格者のみ) 令和4年2月5日(土) または6日(日)
大学入学 共通テスト 利用選抜	一次試験 本学での個別試験は課さない
	二次試験 (一次試験合格者のみ) 令和4年3月4日(金)

キャリア支援センターより

令和3年度就職(進学)状況について

就職・採用活動については、例年どおり、広報活動(就職情報サイトのオープン、会社説明会等)の開始時期は、3月、採用試験の開始時期は、6月となっております。

本学では、薬学科6年次296名、生命薬科学科4年次24名、大学院博士課程前期(薬科学専攻)2年次3名、大学院博士課程後期(薬科学専攻)3年次2名の計325名が、就職あるいは大学院進学を目指し活動を行っております。

就職希望者にあつては、昨年同様新型コロナウイルスの影響が懸念されたところですが、12月3日現在の各学科の進路状況は例年並みの高い内定率となっております。

【薬学科】

製薬会社2名、CRO・SMO1名、公務員4名、病院59名、薬局152名、ドラッグストア47名、大学院進学2名の計267名が進路を決定しており、進路決定率は90.2%(昨年94.0%)となっております。病院内定者は、19.9%と前年同時期(24.8%)よりも減少し、薬局内定者は、51.4%と前年同時期(51.4%)と同様でした。また、ドラッグストア内定者は15.9%と前年同時期(12.8%)よりも増加しております。

【生命薬科学科】

就職希望者15名について、製薬会社5名(MR1名、生産技術職3名、品質管理職1名)、CRO・SMO2名、試験研究機関2名、公務員1名、医薬品卸1名、食品会社1名、薬局1名(医療事務)、他業種1名の計14名が就職内定しております。また、進学希望者9名のうち全員が大学院進学(本学大学院4名、他大学大学院5名)を決定しております。

【大学院】

薬科学専攻博士課程前期課程については、化学工業1名(検査・分析職)、医薬品卸1名、サービス業1名(技術職)が進路を決定しております。また、薬科学専攻博士課程後期課程の2名の留学生は帰国後に活動を予定しております。

なお、現在、進路未決定の学生の皆さんに対して、引き続き支援を行っておりますので就職課を積極的にご利用ください。

令和3年度薬学部キャリア・就職支援行事予定

10月

- 10月4日(月) 履歴書・エントリーシートフォローアップ講座(Zoom講座)
- 10月16日(土)～ 学内公務員講座(有料:令和4年7月迄)(web講座)
- 10月18日(月) 就職マナー講座II(就活メイク講座)
- 10月18日(月)～ 就職活動体験発表会(動画配信)
- 10月25日(月) 面接試験対策講習会①(面接試験対策講義・模擬面接)(Zoom講座)
- 10月25日(月) 適性検査R-CAP(web受検)

11月

- 11月8日(月)～ 業界・仕事研究セミナー(動画配信)
- 11月8日(月)～ SPI3解説講座(動画配信)
- 11月16日(火) 製薬会社等内定者との懇談会
- 11月18日(木) 面接試験対策講習会②(グループディスカッション、個人面接:希望者対象)(Zoom講座)
- 11月22日(月) インターンシップ事後講習会
- 11月29日(月) キャリア支援講座講演会(対面(Zoom講座含む))

12月

- 12月6日(月) R-CAP解説講義

1月

- 1月25日(火) 就職ガイダンス-就活直前編-(生命薬科学科3年)(Zoom講座)

2月

- 2月18日(金) 就職ガイダンス・インターンシップ説明会(薬学科4年)(Zoom講座)
- 2月21日(月) 就職ガイダンス-就活直前編-(薬学科5年)(Zoom講座)
- 2月22日(火) 就職活動直前講座(自己分析・ES対策・面接対策等)(Zoom講座)

3月

- 3月予定 合同就職説明会(遠隔実施)

キャリア支援センターより

令和5年3月卒業予定者の就職活動時期について

令和5年3月に卒業・修了予定者の就職・採用活動日程については、政府の関係省庁連絡会議において、現行日程と同じとすることが決定され、関係省庁より経済団体等に対しその遵守を要請されております。

また国公私立の大学等で構成する就職問題懇談会では就職・採用活動日程の遵守をはじめ就職活動の秩序維持に関して各大学等が取り組むだけでなく、就職問題懇談会として企業等に対し協力要請を行っているところです。

しかしながら実態として就活スケジュールに当てはまらない採用活動を行っている企業が増えています。

以下は、国や就職問題懇談会が求める採用活動スケジュールです。

○**広報活動の開始時期…卒業・修了年度に入る直前の3月1日以降**
事業所（企業）HPによる採用情報の公開、就職情報サイトのオー

ブン、会社説明会への参加、エントリーシートの提出、グループディスカッション等。

○**採用選考活動の開始時期…卒業・修了年度の6月1日以降**
選考試験開始（筆記試験、面接試験）
選考試験通過→内々定→10月1日に正式内定となります。

3月から事業所（企業）の広報活動が開始されますが、会社説明会開催やエントリーシートの提出等は3～4月に集中されることが予想されます。自己分析、業界・企業研究、エントリーシート作成、面接練習等、早めに準備や対策をすることが必要と思われます。

※就職問題懇談会の「令和4年度大学、短期大学及び高等専門学校卒業・修了予定者に係る就職について（申合せ）」については、本学HP「キャリアサポート」内に掲載しております。

就職活動体験記



薬学部薬学科6年
石川 大雅

私は病院と薬局の就職活動を並行して行いました。病院の中でも特に東北大学病院への就職を第一に考えていましたが、それぞれの業界に関する理解を深めながら比較し、自分の意思を確認することが重要だと思い、時間をかけて2つの業界の情報収集を進めていました。大学病院を志望していた理由は、資格取得と研究の環境が整っていることです。私は現段階でがん領域の専門資格に興味があり、資格取得ならびにそのプロセスを経ることで、高度化・複雑化してきているがん領域でより薬剤師としての専門性を発揮できると考えています。そのため、そういった環境が整っていることが就職先を決める条件の一つでした。また、様々な症例を基に臨床研究に取り組みたいとも考えていたため、一定以上の診療科と病床を有し研究活動を推進している大学病院は、自身の希望に合う環境だと思いました。結果としては両業界で複数内定を頂き、第一志望であった東北大学病院への就職を決めることができました。

就職活動を行う上で力を入れて取り組んだのは面接対策でした。大学の就職課に先輩方の就職活動記録をまとめた資料が置

いてあるので、その資料から過去の質問内容をピックアップし、それに対する回答を作成していました。多くの質問に対する回答を作成していくことで、単にその質問に答えられるようになるだけでなく、自己理解も深まり応用がきくようになっていきました。面接は定番の質問ばかりでなく想定外の質問も多く、特に大学病院の面接では準備した内容の1割も聞かれなかったので、対応力を養う取り組みが重要だと感じました。また、面接練習も積極的に行っていました。面接練習は大学の就職課やハローワークで実施しており、私は大学の就職課に複数回協力していただきました。面接を対面で行うかオンラインで行うかは企業によって異なり、それぞれ違った注意点があるため対策に苦労しましたが、回数を重ねながらその都度課題を克服していったことが功を奏したと思います。

就職は人生において重要なイベントです。だからこそ、自分と向き合いながら時間をかけて就職活動を行っていくことが大事だと思います。早い段階から情報収集をするのも良いですし、面接で話せるようなエピソード作りをするのも良いと思います。そうした取り組みがいつか必ず生きてくると思います。悔いの無いよう、精いっぱい就職活動を行ってください。

最後に、就職活動中にお世話になりました就職課の皆様、先生方、先輩や友人に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

インターンシップ体験記



薬学部生命薬科学科3年
小野寺 のどか

私は小学生のころから実験が好きでした。大学の実習活動では使用する器具が増え、専門的な知識を学び高校までとは違った結果を出せたことに魅力を感じました。しかし、将来自分が何をしたいのか、「実験活動が好き」ということだけでどのような職に就けるのか、また、職種について無知だったため将来がとても不安でした。

そこで、職種の理解を深めるためにWebインターンシップに参加しました。私は、日新製薬株式会社と日本赤十字社東北ブロック血液センターのインターンシップに参加しました。各2日間行われとても有意義な経験となりました。

日新製薬株式会社では、品質保証業務・品質管理業務、企画開発業務について説明と、グループディスカッションがありました。実際に品質保証や品質管理の現場で働いている方の話を聞き、機械やシステムを使用することによる品質へのこだわりはもちろんですが、社員一人一人の心掛けが「品質第一」につながっていると感じました。また、実際に働いている様子を見て、今まで実習で使用してきた機器と大きさなど全く違っていたため圧倒されま

した。企画開発部は業務が多岐にわたり、私が今まで思っていた開発業務と異なっていたため、特に知識が深まりました。

日本赤十字社東北ブロック血液センターでは、検査部門、製造部門の説明、先輩方との座談会、グループディスカッションがありました。私は機械での作業が多くあるのかと思っていましたが、手作業で行っている作業が多く、また、定められた時間内に作業を行う必要がある機器は限られた人しか使用できないと知り、驚きました。献血でいただいた血液を丁寧に扱い、かつ、一つ一つの作業にスピードと正確さが必要だと感じました。

初めての経験だったグループディスカッションは、ほかの参加者に比べ発言をすることができず、役割も確にこなせませんでした。これまで、積極性が足りないことは自覚していましたが、他の参加者に刺激を受け改めて実感しました。グループディスカッションの雰囲気を知ることができ、とても良い経験になりました。

Webインターンシップに参加したことで職種の理解を深めることができました。また、今後の課題として、お話ししている方に対して、頷きや、拍手などのリアクションを大きく行わないと分かりづらいつ感じました。Web開催に限らず、聴く態度として大切なことだと思うので普段から意識したいです。今回学んだことを忘れず、自身の進路を考えていきたいです。

図書館より

二松会からの図書寄贈について(御礼)

毎年、二松会から図書館に図書購入費の御支援をいただいております。本年11月までに次の図書を購入いたしましたのでご報告いたします。二松会・ご父母の皆様へ心より御礼申し上げます。

【令和3年11月末までの購入分】

- ・「領域別既出問題集 改訂第9版 全9巻」
 - ・「CBT・医師国家試験のためのレビューブックシリーズ改版分」など
- 計43種 金額 274,246円

電子資料の導入について

令和3年9月から診療支援データベース「Current Decision Support」を導入いたしました。

本データベースは、約2,000名の著名医師で作成・更新しており、約3,000疾患の診断・治療方法、約700 症状・所見の診断へのアプローチ、全処方薬の薬剤情報を閲覧することができます。

本学老年神経内科学の中島一郎教授が作成に参加されています。

学内または院内ネットワークに接続した端末からご利用いただけますので、ぜひご活用ください。

大学院より

令和4年度大学院薬学研究科入学者選抜結果

1. 薬科学専攻博士課程前期課程

	募集人員	志願者	合格者	入学手続完了者
推薦入学試験	10	2	2	2
一般入学試験(一次募集)	10	2	2	2
合 計	20	4	4	4

2. 薬学専攻博士課程

	募集人員	志願者	合格者	入学手続完了者
一般入学試験(一次募集)	3	2	2	2
合 計	3	2	2	2

令和4年度大学院薬学研究科入学者選抜日程

1. 薬科学専攻博士課程前期課程

一般入学試験(二次募集)
(社会人入学試験を含む)
募 集 定 員：若干名

2. 薬科学専攻博士課程後期課程

一般入学試験
(社会人入学試験を含む)
募 集 定 員：若干名

3. 薬学専攻博士課程

一般入学試験(二次募集)
(社会人入学試験を含む)
募 集 定 員：若干名

出 願 期 間：令和4年1月6日(木)～13日(木)

試 験 日：令和4年1月27日(木)

合格発表日：令和4年2月14日(月)

大学院の授業料について

令和4年度入学生より、薬科学専攻博士課程前期課程、薬科学専攻博士課程後期課程並びに薬学専攻博士課程の授業料(年額)

が400,000円となります。

なお、現在在学中の方については、金額の変更はありません。



学内人事

【医学部】

【新採用】

<令和3年10月1日付>

泌尿器科学

助手 及川 真亮

【寄附講座教員新採用】

<令和3年7月1日付>

感染症危機管理地域ネットワーク寄附講座

准教授 吉田 真紀子

【昇格(職名変更)】

<令和3年10月1日付>

内科学第一(呼吸器内科)

講師→准教授 安達 哲也

内科学第三(腎臓内分泌内科)

助教→講師 中村 はな

小児科学

助教→講師 川合 英一郎

老年神経内科学

助手→助教 小川 諒

外科学第一(消化器外科)

助手→助教 鈴木 秀幸

救急・災害医療学

助手→助教 板垣 秀弥

泌尿器科学

助手→助教 久木元 隆

眼科学

助手→助教 浅野 良規

【寄附講座兼任】

<令和3年7月1日付>

感染症危機管理地域ネットワーク寄附講座

教授 賀来 満夫

(感染症学 特任教授)

感染症危機管理地域ネットワーク寄附講座

准教授 遠藤 史郎

(感染症学 准教授)

【勤務地変更】

<令和3年8月1日付>

東北医科薬科大学若林病院 → 東北医科薬科大学病院

講師 安達 哲也(内科学第一(呼吸器内科))

<令和3年9月1日付>

東北医科薬科大学病院 → 東北医科薬科大学若林病院

准教授 東海林 史(耳鼻咽喉科学)

<令和3年10月1日付>

東北医科薬科大学若林病院 → 東北医科薬科大学病院

助教 内海 由也(リハビリテーション学)

【退職】

<令和3年7月31日付>

小児科学

助教 市川 由香里

<令和3年9月30日付>

泌尿器科学

助教 三上 穰太郎

内科学第三(腎臓内分泌内科)

助教 関 敬之

<令和3年11月30日付>

外科学第一(消化器外科)

助教 安本 明浩

【事務局】

【兼任】<令和3年9月1日付>

財務部長

堀田 徹(事務局長)

【退職】<令和3年8月31日付>

事務局次長 兼 財務部長

堀 敏明

令和3年度外部資金獲得状況

(1) 科学研究費助成事業(文部科学省)

(単位:円)

	薬学部・研究代表者			研究分担者
	新規	継続	合計	合計
採択件数	13	27	40	4
直接経費	17,200,000	39,900,000	57,100,000	2,650,000
間接経費	5,160,000	11,970,000	17,130,000	795,000
合 計	22,360,000	51,870,000	74,230,000	3,445,000

	医学部・研究代表者			研究分担者
	新規	継続	合計	合計
採択件数	16	38	54	23
直接経費	21,300,000	48,600,000	69,900,000	3,740,000
間接経費	6,390,000	14,580,000	20,970,000	1,122,000
合 計	27,690,000	63,180,000	90,870,000	4,862,000

	教養教育センター・研究代表者			研究分担者
	新規	継続	合計	合計
採択件数	2	1	3	3
直接経費	3,000,000	500,000	3,500,000	1,130,000
間接経費	900,000	150,000	1,050,000	339,000
合 計	3,900,000	650,000	4,550,000	1,469,000

	その他・研究代表者			研究分担者
	新規	継続	合計	合計
採択件数	1	0	1	0
直接経費	1,100,000	0	1,100,000	0
間接経費	330,000	0	330,000	0
合 計	1,430,000	0	1,430,000	0

※その他内訳:本学附属病院職員

	大学全体・研究代表者			研究分担者
	新規	継続	合計	合計
採択件数	32	66	98	30
直接経費	42,600,000	89,000,000	131,600,000	7,520,000
間接経費	12,780,000	26,700,000	39,480,000	2,256,000
合 計	55,380,000	115,700,000	171,080,000	9,776,000

※移管分を含む、期間延長分・繰越分除く

(2) 科学研究費助成事業(厚生労働省)

(単位:円)

	大学全体・研究代表者			研究分担者
	新規	継続	合計	合計
採択件数	0	0	0	9
直接経費	0	0	0	4,800,000
間接経費	0	0	0	0
合 計	0	0	0	4,800,000

※移管分を含む、期間延長分・繰越分除く

(3) 受託研究費等

(単位:円)

	薬学部			
	受託研究	共同研究	奨学寄附	合計
件 数	5	11	7	23
直接経費	14,063,000	8,397,170	6,434,000	28,894,170
間接経費	3,273,900	844,717	626,000	4,744,617
合 計	17,336,900	9,241,887	7,060,000	33,638,787

	医学部			
	受託研究	共同研究	奨学寄附	合計
件 数	18	9	50	77
直接経費	88,440,000	5,149,091	71,391,291	164,980,382
間接経費	26,382,000	520,909	7,876,810	34,779,719
合 計	114,822,000	5,670,000	79,268,101	199,760,101

	大学全体			
	受託研究	共同研究	奨学寄附	合計
件 数	23	20	57	100
直接経費	102,503,000	13,546,261	77,825,291	193,874,552
間接経費	29,655,900	1,365,626	8,502,810	39,524,336
合 計	132,158,900	14,911,887	86,328,101	233,398,888

※文部科学省共同利用・共同研究拠点事業除く

(4) 教育研究協力資金

(単位:円)

	個 人	企業・団体	合 計
件 数	362	3	365
金 額	14,077,030	31,000,000	45,077,030

本院より

「遺伝外来」を開設

令和3年7月1日(木)より、東北医科薬科大学病院(以下、当院)では「遺伝外来」を開設いたしました。

「遺伝外来」では、先天性疾患や遺伝性疾患について心配されている方に専門の医師(臨床遺伝専門医)が遺伝カウンセリングを行います。

遺伝カウンセリングとは、情報提供と非指示的な対話をとおり、患者さんの自己決定の援助をする医療です。心理療法ではありません。昨今、診療の場における遺伝子診断の急激な導入にとも

ない、適切な遺伝カウンセリングの重要性が増しています。遺伝に関わる悩みや不安、疑問などを抱かれている方々に正確な医学的情報をわかりやすく伝え、遺伝性疾患の診断・経過・医学的支援への理解を助けるとともに、疾患の遺伝様式、再発リスクを正しく評価し、患者さんご自身が最善と思う方策を選択できるようにすることを目的としています。遺伝に関する心配や不安、問題点などについて一緒に考え、患者さんのより良い選択の支援を行えるよう努めてまいります。

病院機能評価の認定を受けました

当院は、令和3年6月4日(金)に病院機能評価の認定(更新)を受けました。

「病院機能評価」とは、病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動(機能)が適切に実施されているかどうかを評価する仕組みのことです。各専門領域(診療管理、看護管理、事務管理)の知識と経験を有する評価調査者が、中立・公平な立場にたって、所定の評価項目に沿って病院の活動状況进行评估します。2日間にわたる各部署の訪問面接が実施され、各項目の評価を受けました。

結果として、公益財団法人日本医療機能評価機構の定める認定基準を達成し、日本医療機能評価機構認定病院として今回で5回目の認定を受けることができました。今後もより質の高い医療を提供できるよう、課題の改善に取り組んでまいります。



「認定証」

タグラインを制作しました

当院では、病院のブランディング化を目的に「タグライン」を制作しました。職員から案を募り、多数の応募作品の中から「人×未来>、<人×医療>、<医療×未来>への思いが込められた作品が採用されました。

「タグライン」とは、「その企業のコンセプトや理念を表したり、その企業や製品、サービスがどんな価値を提供しているか」を端的にあらわす言葉とされています。

「人と医療と未来をつなぐ」という思いを掲げ、今後も院は『忠恕』(真心を尽くし思いやりの心で務める)の精神に則り、心のこもった医療・最も新しい医療・納得できる医療の実践に努めてまいります。



若林病院より

新型コロナウイルスワクチン接種への取り組み

当院の新型コロナウイルスワクチン接種については、4月から医療従事者向けの個別接種を始めた後、6月からは当院に通院している透析患者さんなど当院での接種が望ましい方々を中心に個別接種を進めてまいりました。

途中ワクチン供給の不安もありましたが、65歳以上の高齢者や基礎疾患を有する方、妊婦さん、その後は65歳未満の基礎疾患を有する方など段階的に対象を拡大し、10月までに2回の接種を終了しております。

今後、ブースター接種への対応を進めてまいります。

プチ健診の取り組み～健診センターより～

当院健診センターでは、人間ドックや健康診断のほか、どんなにでもご利用できる「プチ健診」を行っております。

血糖、コレステロール、尿酸、肝機能などの検査が、予約や保険証の提示不要、短時間しかも低価格(1項目500円～、お得なセットメニューもあり)で気軽に受けられます。

検査結果は1週間程度でご自宅へ郵送されます。気になる数値を手軽に把握できるため、定期的にご利用いただいている方や付き添い等のついでに受検される方もいらっしゃいます。

詳細はこちら



小松島キャンパス学生食堂リニューアル

令和3年8月19日(木)に小松島キャンパス学生食堂がリニューアルオープンしました。

リニューアルにあたり、学生にも協力頂き、学生目線の意見も取り入れた形でオープンを迎えました。コロナ禍のため、利用人数の制限を設けた形となっていますが、提供メニューのリニューアルやドーナツの販売を開始し、食堂にも少しずつ活気が戻ってきています。



吉村祐一教授の研究内容が「みらいぶっく」に掲載

薬学部 分子薬化学教室 吉村祐一教授の研究内容が、内閣府による学問調査発信事業「みらいぶっく」(協力:河合塾)に掲載されました。

「医薬品の潮流は、抗体医薬から核酸医薬へ」と題して、医薬品を創るための基礎的な研究である「創薬化学」を中心とした吉村先生の研究内容について紹介されました。

「みらいぶっく」は、こちらのQRコードからご覧いただくことができます。



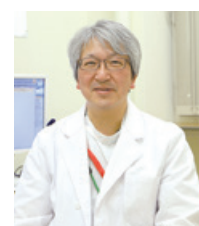
住友和弘准教授がKHB東日本放送の番組に出演

KHB東日本放送の報道情報番組「チャージ!」および同放送局のスペシャル番組にて、医学部 地域医療学教室 住友和弘准教授が研究する「森林療法」が紹介されました。

「森林療法」とは、科学的な証拠に裏付けされた森林浴のことで、森を楽しみながら心と身体の健康維持や病気の予防を行うことを目指しています。

取材は、利府町にある「ぐりりの森」や、小松島キャンパス教育研

究棟地下1階にある「中央機器センター」等で行われ、住友先生が森や研究施設で活動を行う様子が、分かりやすく紹介されました。



賀来満夫特任教授 各種テレビ番組に出演

医学部 感染症学教室 賀来満夫特任教授が、TBSの「報道特集」およびNHK(Eテレ・総合テレビ)の「視点・論点」に出演しました。

猛威を振るう新型コロナウイルス感染症への対策について、専門家の視点から詳しく分析・解説を行いました。



久下周佐教授 河北新報に取材記事掲載

令和3年9月16日(木)の河北新報オンラインニュースに「コロナ飲み薬、進む開発 早ければ年内の処方も 東北医科薬科大・久下教授に聞いた」と題して、薬学部 微生物学教室の久下周佐教授の取材記事が掲載されました。

本記事では、国内外で開発が進む「新型コロナウイルス感染の初期に口から投与できる治療薬」について、コロナの治療薬を研究する久下周佐教授が、経口薬の特徴や課題などをお話しました。

河北新報の記事、および久下教授の研究室ページは、こちらのQRコードからご覧いただくことができます。

河北新報



研究室



本学名誉教授只野武先生が革新的なビジネスプランを競うコンテストの最優秀起業家賞を受賞

本学の只野武名誉教授は、石川県産業創出支援機構が10月26日(火)に開催した「スタートアップビジネスプランコンテスト」において、最優秀起業家賞を受賞されました。

このコンテストは、革新的なアイデアを持つベンチャー企業を発掘し、育成することを目的として毎年開催されています。

今年は全国から344件の応募があり、その中から選ばれた8件のビジネスプランが発表され、審査員を務めた企業の社長6名が将来性やユニークさを評価した結果、見事最高賞に輝きました。

先生は本学を定年退職後、金沢大学で特任教授としてご活躍されており、「乳酸菌サプリで超高齢化社会に充実した老後を実現」というテーマで研究に取り組んでおられます。今回受賞され

たビジネスプランは、研究成果の一つであるサプリメント、「まるちペーすと」について発表したものです。

このサプリメントには新しい種類の乳酸菌が多く含まれ、腸内や口の中に存在し、脳の機能低下につながる悪玉菌を減らすことが動物や人への実験で証明されています。高齢者が日常的に使用することで脳の機能を改善し、認知症を予防する効果が期待されています。

只野名誉教授の今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。



渡部俊彦准教授「しくじりオブザイヤー2021」大賞受賞

薬学部 薬学教育センターの渡部 俊彦 准教授が、薬学教育学会大会で「しくじり・オブ・ザ・イヤー2021大賞」を受賞しました。

新型コロナウイルスの影響で教育環境が激変する中、薬学教育学会大会において各大学の教員がそれぞれ学習効果向上の事例を紹介し、渡部准教授は、しくじりを踏まえた最高の教育実践を成し遂げたことが評価されました。

なお、本取組みは令和3年9月1日(水)の薬事日報でも紹介されました。



福地成講師「日本トラウマティック・ストレス学会」奨励賞受賞

医学部 精神科学教室の福地 成 講師が、「第20回日本トラウマティック・ストレス学会」奨励賞(優秀演題賞)を受賞しました。

演題: 東日本大震災後に誕生した子どもとその家族への縦断支援研究(1)

: 養育者の精神健康は震災後に出生した子どもにどのような影響を与えるのか

本賞は、日本トラウマティック・ストレス学会の学術大会において発表された演題の中から、特に優れた発表に対して授与されるものです。



善積 克 講師が日本性機能学会白井賞を受賞

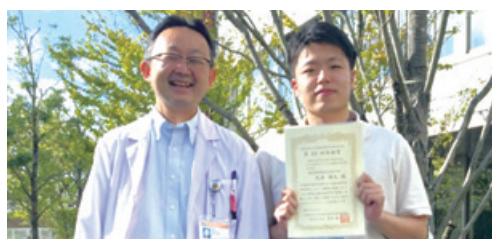
薬学部 機能形態学教室の善積 克 講師が、日本性機能学会白井賞を受賞しました。本賞は、対象期間に掲載された性機能関連の英文論文の中から、特に優れた論文に対して授与されるものです。受賞論文タイトル「Central mechanisms of apomorphine and m-chlorophenylpiperazine on synergistic action for ejaculation in rats」



医学部4年の武居 翔也 君が、日本超音波医学会第62回東北地方会学術集会にて奨励賞を受賞

2021年9月19日(日)に青森でWeb開催された日本超音波医学会第62回東北地方会学術集会において、医学部4年の武居 翔也 君が第25回奨励賞を受賞しました。この研究は、3年時のカリキュラムの課題研究で地域医療学教室に配属された際にまとめたものです。

演題名「大動脈弁狭窄症の診断・重症度評価における頸動脈エコーによる収縮期加速時間の有用性」



卒業生 三浦えりかさん「処方箋上のアリア」刊行

本学卒業生で、現在、薬剤師漫画家として活躍されている三浦えりかさんの作品「処方箋上のアリア」の1～3巻が刊行しました。本学図書館内、参考図書コーナーにて配架中です。

また先日、大学で三浦えりかさんにインタビューを実施しました。本学在学時の学生生活の様子や、漫画家を目指そうと思ったきっかけ、「処方箋上のアリア」制作裏話など、貴重なお話を

いただきました。近日中に本学ホームページにて公開予定です。お楽しみに。



卒業生 柏葉幸子さん「岬のマヨイガ」映画公開

本学卒業生で、現在、児童文学作家として活躍されている柏葉幸子さん原作の「岬のマヨイガ」が、令和3年8月27日(金)に映画公開されました。

物語は岩手県を舞台に、ある事情で居場所を失った17歳の少女と8歳の女の子が不思議なおばあちゃんと出会い、古民家で共同生活を営みながら遠野物語を彷彿とさせる伝承や妖怪に出会

うファンタジーとなっています。

声優は、女優の芦田愛菜さん、大竹しのぶさん、お笑い芸人のサンドウィッチマンなど、有名芸能人が担当し、話題となりました。



映画の詳細はこちらから



教室紹介

医学部 内科学第一(循環器内科)教室(教室責任者:小丸 達也教授)

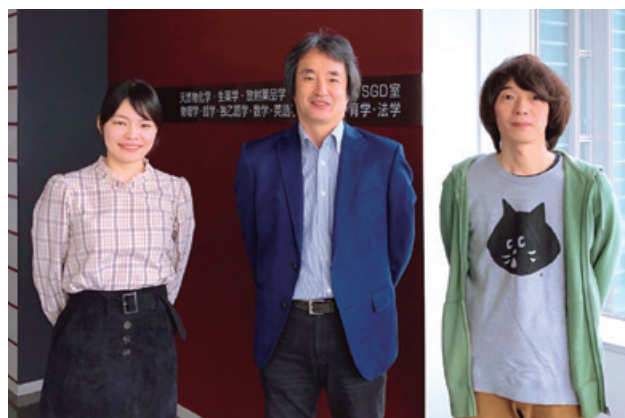
当教室は、急性心筋梗塞に対する緊急カテーテル治療などの救急医療を担うために24時間態勢で診療を行っています。狭心症や末梢動脈閉塞に対する血管内カテーテル治療、心房細動や心室頻拍等の不整脈に対するアブレーション治療、慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対するバルーン拡張術等の専門的治療をはじめ、心不全に対する薬物やデバイスを用いた集学的治療、ペースメーカーや植え込み型除細動器等を用いた不整脈治療など、あらゆる循環器疾患に対応して最先端の診療を行っています。教育活動としては、循環器学の通論、胸痛や動悸の症候学、臨床データをを用いた課題研究、バイタルサインについての基本的診療技能、総合診療学、病棟・外来における臨床実習、統括講義等、2年次から6年次まで、幅広く担当しています。研究活動としては、心房細動に対する新たな治療戦略の開発や動脈硬化のイメージング、インターベンション後の後療法開発等を行っています。



スタッフ

薬学部 天然物化学教室(教室責任者:内田 龍児教授)

天然物はその構造の多様性と興味深い生物活性から、これまでに上市された低分子医薬品の約7割において、何らかのかたちで貢献していることをご存知でしょうか。当研究室では、薬学部薬学科の「天然物化学」、同生命薬科学科の「生薬学II」、「薬品資源学」、「最新天然物化学」や大学院特論における各講義、あるいは生薬・天然物系の実験実習を通じ、この天然物の功績と魅力を、化学的および生物学的の両視点から学生の皆さんに伝えていきます。また、研究活動では、放線菌や糸状菌などの陸棲・海棲微生物や、海綿・ホヤや軟体サンゴなどの海洋無脊椎動物あるいは伝承植物といった「天然資源」の中から、低分子医薬品のタネとなる生物活性物質を見出す探索研究を展開しています。「天然資源は薬の宝庫」をキーワードに、天然資源を収集するフィールドワークに始まり、天然物のスクリーニング、生産・単離精製と構造解析、さらには生物活性や作用機序の解析を日々行っています。



左から 八木助手、内田教授、山崎准教授

同窓会より

叙勲・表彰

卒業生が受章(受賞)されました。
心からお祝い申し上げますとともに
ますますのご活躍を心より祈念いたします。

◆秋の叙勲 令和3年度

〈厚生労働省関係〉(旭日双光章)

深澤 逞 様 元 大崎薬剤師会 会長 昭和44年卒業(大学17回生)(宮城県)

◆高齢者叙勲 令和3年度

〈旭日双光章〉【薬事功労者】

加藤 晴彦 様 元 大崎薬剤師会 会長 昭和30年卒業(大学3回生)(宮城県)

◆厚生労働大臣表彰

【薬剤師関係】

松本 健春 様 現 北海道薬剤師会 副会長 昭和53年卒業(大学26回生)(北海道)

小笠原 慈夫 様 現 一関薬剤師会 会長 昭和51年卒業(大学24回生)(岩手県)

丹野 佳郎 様 元 宮城県薬剤師会 副会長 昭和55年卒業(大学28回生)(宮城県)

菅原 信幸 様 元 秋田県薬剤師会 副会長 昭和50年卒業(大学23回生)(秋田県)

◆文部科学大臣表彰

【学校保健及び学校安全表彰】

二宮 邦信 様 仙台市立田子小学校 学校薬剤師 昭和60年卒業(大学33回生)(宮城県)

◆宮城県文化の日表彰

【教育文化功労者】

高橋 義典 様 元 学校薬剤師 昭和38年卒業(大学11回生)(宮城県)

毛利 儀平 様 現 学校薬剤師 昭和48年卒業(大学21回生)(宮城県)

阿部 幸造 様 現 学校薬剤師 昭和31年卒業(大学4回生)(宮城県)

宇根岡 繁 様 現 学校薬剤師 昭和43年卒業(大学16回生)(宮城県)

【保健衛生功労者】

森川 昭正 様 現 宮城県薬剤師会 常任理事 平成10年卒業(大学46回生)(宮城県)

同窓会からの生活に困窮する学生に対する支援について

昨年から引き続いて新型コロナウイルス感染拡大は社会の各方面に様々な影響を及ぼしております。本学においても教育・研究や学生生活に多大な影響を及ぼしており、学生の中には家庭の収入が減少し学生生活が困難な状況にある学生も出ております。

このような状況を憂い、同窓生の皆様から後輩学生に対して、同窓会として何らかの支援を行うことができないものかとのご意見が多数寄せられております。同窓会定時総会の議を経て、令和2年度、3年度と同窓会の予算より生活に困窮する学生に対する支援金を寄付させていただきました。

同窓会では困難な状況下においても頑張っている後輩学生に対して、今後も支援を行っていきます。

二松会より

二松会総会の開催について(書面表決)

今年度の二松会総会は、10月2日(土)に開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮し、会員の皆様にご参集いただいての開催は中止とし、郵送による書面表決という形にて開催いたしました。

結果につきましては以下のとおりです。

※なお、下記の結果につきましては、10月5日付にて大学ホームページにも掲出しております。

記

1. 日程 書類発送: 令和3年8月10日 - 提出締切: 令和3年8月31日
2. 書類発送数 2,592通
3. 返送数 1,023通(返送率:39.5%)
4. 各議案に対する回答

議案	賛成	反対	無回答	賛成率
第1号議案 令和2年度収支決算	1,022	0	1	99.9%
第2号議案 令和3年度事業計画	1,020	2	1	99.7%
第3号議案 令和3年度予算	1,019	3	1	99.6%
第4号議案 役員の改選	1,022	0	1	99.9%
第5号議案 退任役員への感謝状並びに記念品の贈呈について	1,014	5	4	99.1%

5. 決議結果

第1号から第5号までの議案について、過半数の賛成により可決されました。

※二松会会則 第九条に準じ、ご提出いただいた書面表決書により、過半数の賛成をもって可決。

6. いただいたご意見について

会員の皆様より、二松会の運営および大学に対する励ましのお言葉を多数頂戴するとともに、ご指摘等に関するご意見も複数いただきました。

皆様からいただいたご意見につきましては、大学とも共有のうえ、本会運営に役立たせていただきたいと考えております。

引き続き、ご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

ご寄付のお願い(教育研究協力資金)

本学では教育・研究のための環境整備などを目的として、継続的に皆様からのご支援を受け付けております。引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

<寄付申し込み方法(個人でのお申込み)>

・インターネット: クレジットカード決済、コンビニ決済、Pay-easy決済よりお選びいただけます。QRコードまたは以下URLよりお手続きください。

(教育研究協力資金URL: <https://www.tohoku-mpu.ac.jp/about/donation/>)

・銀行振込: 振込用紙を送付いたしますので以下の問い合わせ先までご連絡ください。



<問い合わせ先>

財務部財務課 TEL: 022-234-4181 (代表) E-mail: kifukin@tohoku-mpu.ac.jp

<記念グッズの贈呈について>

個人で教育研究協力資金へご寄付いただいた皆さまへ、1回の寄附金額に応じ、大学ロゴマーク入りの記念グッズをお送りいたします。

記念グッズの例(写真はイメージです)



オリジナルマスク



オリジナルマスクケース

教育研究協力資金の受入状況および使途報告

令和2年度(令和2年4月1日~令和3年3月31日)の教育研究協力資金の受入状況は以下のとおりです。

	在校生保護者	同窓生	その他個人	法人	合計
件数	192	227	3	9	431
金額(円)	9,000,000	6,172,120	3,010,000	32,500,000	50,682,120

この度は、教育研究協力資金の趣旨にご賛同いただき、ご寄付を賜りまして誠にありがとうございます。

皆様から賜りました寄付金は、情報科学センターA・B教室設置の「レーザー光源液晶プロジェクター」や、「旋光計」、複数台の「顕微鏡」など、教育研究の質的向上と維持及び教育研究環境の充実のために必要となる設備や機器購入費用の一部に充当させていただきました。

今後も、皆様からのご寄付を有効に活用するのうへ、人材の養成に努め、本学の使命を全うしてまいりますので、引き続きお力添えのほどよろしくお願い申し上げます。



東北医科薬科大学 広報委員会

〒981-8558 仙台市青葉区小松島4丁目4番1号

電話番号 022(234)4181(代) FAX 022(275)2013

URL <https://www.tohoku-mpu.ac.jp/>

本学公式SNSへのご登録はこちら

東北医科薬科大学
Facebook



ご登録は
こちらから

東北医科薬科大学
Twitter



ご登録は
こちらから